

薬疹の診かた



浅田秀夫 (奈良県立医科大学皮膚科教授)

本コンテンツはハイブリッド版です。PDFだけでなくスマホ等でも読みやすいHTML版も併せてご利用いただけます。

▶ HTML版のご利用に当たっては、PDFデータダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶ シリアルナンバー付きのメールはご購入から3営業日以内にお送り致します。

▶ 弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することでHTML版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶ 登録手続

- 1 トラブルの種になりうる、問題の多い疾患 ————— p2
- 2 薬疹とは ————— p2
- 3 代表的な薬疹とその特徴 ————— p3
 - (1) 播種状紅斑丘疹型薬疹
 - (2) 多形紅斑型薬疹
 - (3) 蕁麻疹型薬疹
 - (4) 固定薬疹
 - (5) 薬剤性過敏症症候群 (DIHS/DRESS)
 - (6) Stevens-Johnson症候群 (SJS), 中毒性表皮壊死症 (TEN)
- 4 診断のポイント ————— p13
- 5 治療 ————— p17

▶ 販売サイトはこちら

日本医事新報社では、Webオリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶ Webコンテンツ一覧

1 トラブルの種になりうる，問題の多い疾患

薬疹は，日常診療においてすべての医師が遭遇しうる皮膚疾患であるが，時には医療不信を生み出しトラブルの種にもなる，問題の多い疾患である。そのため，医師は発症早期に薬疹に気づき，適切に対処することが大切である。

本稿では，日常診療において比較的遭遇する頻度の高いありふれた薬疹と，初期の判断が治療経過や予後を左右する重症型薬疹を中心に，その診断の手がかりや治療のポイントについて解説する。

2 薬疹とは

薬疹とは，体内に摂取された薬剤自体またはその代謝産物の直接的あるいは間接的な作用によって誘導される皮膚粘膜病変である。あらゆる薬剤が薬疹の原因となりうるが，抗菌薬，解熱鎮痛薬，抗痙攣薬，循環器疾患治療薬，抗癌剤などが原因薬剤の多くを占める。

多くはアレルギー的機序により生じるが，非アレルギー的機序で発症することもある。前者は薬物または薬物代謝産物が抗原となり，抗原特異的な抗体やTリンパ球による免疫反応により発症する。後者は薬剤自体の薬理作用あるいは毒性により発症し，近年普及してきた分子標的治療薬や新規抗癌剤などによって生じることが多い。

また近年，ウイルスやマイコプラズマなどによる感染症が薬疹の発症や増悪に関与しうることが明らかになりつつある。

3 代表的な薬疹とその特徴

以下に代表的な薬疹を挙げ、各々の特徴について述べる。

(1) 播種状紅斑丘疹型薬疹

薬疹全体の中で最も多い病型である。比較的均一な小紅斑や紅色小丘疹がほぼ左右対称的に全身に播種状に生じる(図1)。通常、瘙痒は伴わない。抗菌薬や解熱鎮痛薬を原因薬剤とするものが多いが、ほかに抗てんかん薬、造影剤によるものなど、きわめて多岐にわたる。



図1 播種状紅斑丘疹型薬疹

(2) 多形紅斑型薬疹

播種状紅斑丘疹型に次いで多い病型で，体幹や四肢に浮腫性の円形や標的状の紅斑が多発する（図2）。紅斑の中心に水疱やびらんを伴うこともある。主に顔面や四肢末梢に紅斑がみられる比較的軽症の“EM (erythema multiforme) minor”と，発熱とともに紅斑が多発する重症型の“EM major”にわけられる。通常，粘膜疹は伴わないが，EM majorでは口唇・口腔の軽度の粘膜疹や，眼球・眼瞼の結膜充血を認めることがある。ただし，その程度はStevens-Johnson症候群 (Stevens-Johnson syndrome : SJS) より軽く，出血性や壊死性となることはない。1～2週間で色素沈着を残して治癒する。



図2 多形紅斑型薬疹

円形の浮腫性紅斑が多発し，一部は標的状となっている

◆ 関連コンテンツのご紹介

- ▶ [70枚の写真で学ぶ
在宅で診る皮膚疾患の基礎知識](#)



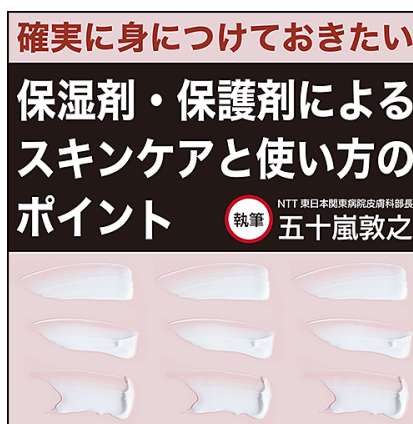
- ▶ [皮膚科漢方入門～Common Diseasesの
治療効果を高めるコツ](#)



- ▶ [ダーモスコーピー画像のみかた
～メラノーマの鑑別](#)

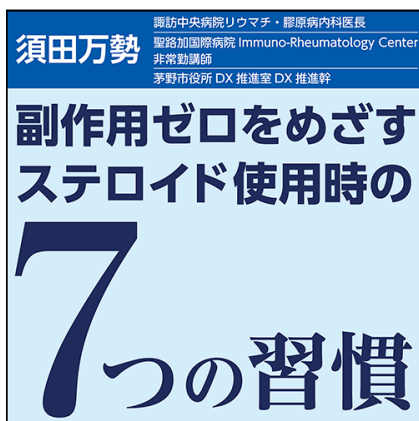


- ▶ [確実に身につけておきたい 保湿剤・保護
剤によるスキンケアと使い方のポイント](#)



◆ 最新コンテンツのご紹介

- ▶ [副作用ゼロをめざすステロイド
使用時の「7つの習慣」](#)



- ▶ [閉院マニュアル～
閉院判断から手続きまで](#)



◆ 全コンテンツをご覧になる場合は[こちら](#)から